

令和7年度

学校評価のまとめ

令和8年3月

鹿児島県立古仁屋高等学校

1 学校評価アンケート結果

(1) 生徒(回収率94%)

(4:そう思う 3:どちらかというと思う 2:どちらかというと思わない 1:そう思わない)

大項目	中項目	No.	小項目	4	3	2	1	R7の 3・4合計	R6の 3・4合計	R6との 比較
生徒の実態	生活面	1	古高生は、地域社会において、高校生としてのふさわしい態度(明るく礼儀正しい、元氣よく挨拶ができる、端正な服装など)で生活している。	61	32	6.7	1.1	92.20	96.10	-3.90
		2	古高生は、迷惑行為や法律に違反する行動は絶対にしない日常生活を心掛けている。	64	30	4.5	2.3	93.10	96.00	-2.90
	交通面	3	古高生は、交通ルールを遵守している。	46	44	6.7	3.4	89.90	90.80	-0.90
	学習	4	古高生は授業の予習・復習を行い、主体的に取り組むことで学力の向上に努めている。	37	47	14	2.2	84.30	81.60	2.70
	課外活動	5	古高生は、地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	74	21	3.4	1.1	95.50	97.40	-1.90
開かれた学校環境	進路	6	本校は、卒業後の進路状況に関する情報の公開に努めている。	65	32	2.2	1.1	96.70	96.00	0.70
	PR活動	7	体育祭や文化祭などの学校行事は本校のPR活動になっている。	61	24	11	3.4	85.30	80.30	5.00
	魅力ある教育活動	9	本校は、古高生や保護者、中学生を含めた地域住民にとって魅力ある学校である。	54	33	7.6	5.9	86.50	93.40	-6.90
教育効果・学校運営	特色ある活動	10	古高生は、総合的な探究の時間等の活動を通じて、郷土への理解が深まっている。	65	30	2.2	2.2	95.50	97.40	-1.90
	進路・学習・保健指導	11	本校は、生徒の進路に関する情報や資料の提供など、個に応じた進路指導を心掛け、積極的な支援を行っている。	66	28	3.4	2.2	94.40	98.80	-4.40
		12	本校は、望ましい職業観や勤労観を育てるために、職場体験学習インターシップや企業見学を行っているが、その内容は十分である。	60	33	4.5	3.4	92.20	94.70	-2.50
		13	本校の授業は、適切な目標が設定され、生徒個々の能力を計画的に伸ばすものになっている。	47	43	6.7	3.4	89.90	94.70	-4.80
		14	本校は、多くの資格取得に向けて取り組み、十分に成果を上げている。	65	32	1.1	2.2	96.70	96.00	0.70
		15	本校は、教育活動においてICTが効果的に活用されている。	48	41	10	1.1	88.60	90.80	-2.20
		16	本校は、健康管理や衛生管理など、学校の保健指導は適切である。	65	32	2.2	1.1	96.70	97.30	-0.60
		17	本校は、人権尊重の立場に立ち、生徒の相談に応じる体制作りが十分にできている。	54	36	6.7	3.4	89.90	92.10	-2.20
満足度	18	本校に、入学して良かったと思っている。	60	33	4.5	3.4	92.20	93.50	-1.30	
安全・安心な学校環境	いじめ対策	19	本校は、いじめの未然防止や早期発見に向けて積極的に取り組んでいる。	59	32	5.7	3.4	90.90	96.10	-5.20
	防災火災	20	本校は、避難訓練の実施や定期的な施設・設備点検などで、生徒が安全で安心して過ごせる環境を提供している。	63	32	4.5	1.1	94.40	98.70	-4.30
	環境整備	21	本校は、校舎内の美化に努め、清潔な学校環境を整えている。	53	29	11	6.7	82.00	88.20	-6.20
【分析】										
<p>学校行事の対外的な評価は回復傾向にあるが、日常生活や学校への帰属意識に課題がみえる。</p> <p>R6年度に大きく落ち込んだ「行事がPR活動になっている」という評価が+5%と回復し、予習・復習への取り組みについても、わずかながら改善(+2.7%)がみられる。その一方で、保護者と同様に「魅力ある学校である」との回答が-6.9%と大きく低下している。いじめの未然防止(-5.2%)や進路指導の支援(-4.4%)などから、生活・指導面で評価が低下しており、そうした点が学校行事以外の教育活動に対して生徒が積極的に評価していない要因と考えられる。</p>										

(2) 保護者(回収率47%)

(4:そう思う 3:どちらかというと思う 2:どちらかというと思わない 1:そう思わない)

大項目	中項目	No.	小項目	4	3	2	1	R7の 3・4合計	R6の 3・4合計	R6との 比較	
生徒の実態	生活面	1	古高生は、地域社会において、高校生としてのふさわしい態度(明るく礼儀正しい、元氣よく挨拶ができる、端正な服装など)で生活している。	58.5	39.0	2.4	0.0	97.50	98.10	-0.60	
		2	古高生は、迷惑行為や法律に違反する行動は絶対にしない日常生活を心掛けている。	40.5	57.1	2.4	0.0	97.60	98.10	-0.50	
	交通面	3	古高生は、交通ルールを遵守している。	33.3	59.5	7.1	0.0	92.80	96.20	-3.40	
	学習	4	古高生は授業の予習・復習を行い、主体的に取り組むことで学力の向上に努めている。	23.8	47.6	23.8	4.8	71.40	73.60	-2.20	
	課外活動	5	古高生は地域の行事やボランティア活動に積極的に参加している。	45.2	47.6	7.1	0.0	92.80	90.50	2.30	
開かれた学校環境	進路	6	本校は、卒業後の進路状況に関する情報の公開に努めている。	61.9	38.1	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00	
	施設	7	本校は、施設・設備の開放を行って地域活動に貢献している。	33.3	57.1	9.5	0.0	90.40	86.80	3.60	
	交流・連携	8	本校は、地域と連携した教育活動を行うため、地域の人材や施設等を教育活動に生かしている。	42.9	54.8	2.4	0.0	97.70	90.60	7.10	
	PR活動	9	体育祭や文化祭などの学校行事は本校のPR活動になっている。	50.0	40.5	7.1	2.4	90.50	90.60	-0.10	
		10	本校は、学校の教育方針や特色ある教育活動の取組を、ホームページ、安全安心メール、新聞報道などで十分に知らせている。	47.6	47.6	2.4	2.4	95.20	94.30	0.90	
	魅力	11	本校は、古高生や保護者、中学生を含めた地域住民にとって魅力ある学校である。	35.7	50.0	11.9	2.4	85.70	90.60	-4.90	
教育効果・学校運営	特色ある活動	12	古高生は、総合的な探究の時間等の活動を通じて、郷土への理解が深まっている。	38.1	52.4	9.5	0.0	90.50	94.30	-3.80	
		13	本校は、生徒の進路に関する情報や資料の提供など、個に応じた進路指導を心掛け、積極的な支援を行っている。	40.5	57.1	2.4	0.0	97.60	96.30	1.30	
	進路・学習・保健指導	14	本校は、望ましい職業観や労働観を育てるために、インターンシップや企業見学を行っているが、その内容は十分である。	33.3	59.5	7.1	0.0	92.80	86.80	6.00	
		15	本校の学力向上への取組は、適切な目標が設定され、生徒個々の能力を計画的に伸ばすものになっている。	24.4	61.0	14.6	0.0	85.40	83.00	2.40	
		16	本校は、多くの資格取得に向けて取り組み、十分に成果を上げている。	38.1	50.0	11.9	0.0	88.10	86.80	1.30	
		17	本校は、教育活動においてICTが効果的に活用されている。	21.4	64.3	14.3	0.0	85.70	81.20	4.50	
		18	本校は、健康管理や衛生管理など、学校の保健指導は適切である。	29.3	63.4	4.9	2.4	92.70	90.60	2.10	
		19	本校は、人権尊重の立場に立ち、生徒の相談に応じる体制作りが十分にできている。	23.8	69.0	4.8	2.4	92.80	96.30	-3.50	
		満足度	20	子どもを、本校に入学させて良かったと思っている。	59.5	38.1	2.4	0.0	97.60	96.20	1.40
		PTA活動	21	本校職員は、PTAに関わる行事に積極的に参加したり協力したりする姿勢がある。	38.1	57.1	2.4	2.4	95.20	92.40	2.80
安全・安心な学校環境	いじめ対策	22	本校は、いじめの未然防止や早期発見に向けて積極的に取り組んでいる。	26.2	61.9	9.5	2.4	88.10	86.80	1.30	
		防災	23	本校は、避難訓練の実施や定期的な施設・設備点検などで、生徒が安全で安心して過ごせる環境を提供している。	33.3	64.3	2.4	0.0	97.60	90.60	7.00
	環境整備	24	本校は、校舎内の美化に努め、清潔な学校環境を整えている。	38.1	61.9	0.0	0.0	100.00	96.20	3.80	

【分析】
地域の人材や施設の活用(+7.1%)や、インターンシップ等の内容充実(+6.0%)、安全・安心の確保: 避難訓練や設備点検などの安全環境の提供(+7.0%)、校舎内の美化・清潔さ(+3.80%)への評価が上昇している。インターンシップを昨年度から年複数回実施し、それが地域の人材や施設の活用の評価の上昇にも繋がっていると考えられる。その一方で、「地域住民にとって魅力ある学校である」が-4.9%と低下しており、人権尊重や生徒の相談に応じる体制への評価も-3.5%となっている。直接的な相関関係については更なる検討が必要であるが、生徒へ学校が寄り添った存在であるのか検証する必要がある。

(3) 職員(回収率100%)

(4:そう思う 3:どちらかというと思う 2:どちらかというと思わない 1:そう思わない)

大項目	No.	小項目	4	3	2	1	R7の 3・4合計	R6の 3・4合計	R6との 比較
組織運営	1	校長の学校経営方針や学校の教育目標、組織目標に沿って、幅広く情報を収集し、前年度の課題を踏まえた新たな視点から、現状を改善するための企画・立案を行っている。	36.8	63.2	0.0	0.0	100.00	94.80	5.20
	2	組織の業務において、管理職や同僚職員と意思疎通を図りながら、協力して取り組んでいる。	63.2	36.8	0.0	0.0	100.00	94.70	5.30
	3	保護者等からの意見や要望を十分に聞き、また、学級や自己の担当業務の状況をタイミングよく発信するなどのコミュニケーションをしっかりとっている。	52.6	47.4	0.0	0.0	100.00	94.70	5.30
学習指導	4	生徒の実態を踏まえて指導目標を明確にし、指導の重点化や内容の系統性に配慮した指導計画を立て、指導を行っている。	31.6	63.2	5.3	0.0	94.80	89.50	5.30
	5	生徒の理解度や満足度を把握し、状況に応じて、個別指導や補充指導等を行っている。	36.8	63.2	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	6	生徒が主体的に予習・復習に取り組むように指導・助言を行っている。	31.6	57.9	10.5	0.0	89.50	89.50	0.00
	7	授業公開等を通して、自らの授業改善を行い、同僚職員との意見交換等も行っている。	15.8	42.1	36.8	0.0	57.90	84.20	-26.30
	8	教育活動においてICTを効果的に活用している。	15.8	57.9	26.3	0.0	73.70	78.90	-5.20
教育活動	9	学習と部活動等の両立を目指す指導を行っている。	31.6	52.6	10.5	5.3	84.20	79.00	5.20
	10	生徒会活動、HR活動、学校行事に意欲的に取り組み、責務を果たすよう、生徒を指導している。	47.4	52.6	0.0	0.0	100.00	94.70	5.30
生活指導	11	始業前の着席、授業での挨拶、礼をしっかりと指導している。	36.8	57.9	5.3	0.0	94.70	94.80	-0.10
	12	登校指導・遅刻指導など、時間を守らせる指導を適切に実行している。	36.8	57.9	5.3	0.0	94.70	100.00	-5.30
	13	身だしなみや適切な言葉遣いなどの指導を行っている。	36.8	57.9	5.3	0.0	94.70	100.00	-5.30
	14	社会的ルールやマナーをしっかりと守り、迷惑行為や法律に違反する行動は絶対にさせないよう厳しく指導をしている。	63.2	36.8	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	15	日頃の清掃活動において指導、監督をしっかりと行っている。	44.4	55.6	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	16	交通ルールを遵守させるなど規範意識の向上を図っている。	42.1	57.9	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	17	人権尊重を意識し、生徒の性格、希望、悩み等を理解した上で指導している。	57.9	42.1	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
地域との連携	18	PTA、学年PTS、出前授業及び学校行事などを通じて、保護者や地域との連携による情報の収集・提供を行っている。	52.6	47.4	0.0	0.0	100.00	89.50	10.50
	19	PTA行事や地域行事に積極的に参加し、PTA活動の活性化に努めている。	47.4	26.3	21.1	5.3	73.70	78.90	-5.20
進路指導	20	生徒一人一人が自分の興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導や情報提供を行っている。	50.0	50.0	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	21	進路に関する学習指導(模試・補習・小論文・面接等)の充実を図っている。	57.9	42.1	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	22	資格取得に対する意識を高めさせ、積極的に取り組ませている。	47.4	52.6	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
不祥事根絶	23	服務規律や関連する法令・規則を正確に理解し、日常業務で確実に遵守している。	78.9	21.1	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00
	24	生徒指導提要を基に、生徒一人ひとりの状況に応じた適切な声かけを行っている。	42.1	57.9	0.0	0.0	100.00	100.00	0.00

【分析】
PTAや地域との連携による情報提供・収集(+10.0%)が大幅に向上し、学校経営方針に沿った企画立案(+5.2%)や同僚との意思疎通(+5.3%)において肯定的な回答が増加した。その一方で、「授業公開を通じた授業改善や意見交換」が-26.3%と大きく低下しており、教員間での授業改善等の活動が十分でない状況が看取できる。教育活動でのICT活用も-5.2%と微減しており、R6年度に指摘された「活用例の共有」が依然として課題である。PTAや地域行事への積極的参加・活性化への姿勢が-5.2%となっており、魅力ある学校の構築に向けて地域への積極的な働きかけがますます重要である。

2 来年度の改善策及び提言等

- ・整備された ICT 環境を、生徒の興味関心を引き出し、教員の指導力を高めるために積極的に活用すべきである。
- ・ SNS の中毒性やアルゴリズムの影響、サイバー犯罪の被害防止について、情報セキュリティ教育や家庭でのルールづくりの重要である。
- ・ 大学合格実績などの成功事例を積極的に PR し、「この学校なら大学も進学できる」というイメージを確立すべきである。
- ・ 地元の行事などで軽音楽部の演奏や生徒による探究活動発表など小中学生や地域住民の目に触れる機会を増やすべきである。
- ・ 高校の体験活動が志望校選択に繋がっているとの声があり、今後も中学校への出前授業などの連携を継続・調整していくことが期待される。
- ・ 生徒が主体的に予習・復習に取り組むための仕掛け（スタディサプリの活用など）や学びに対して前向きな集団づくりなどが必要である。